

平成 2 3 年行政事業レビューシート										(厚生労働省)	
事業名		エイズ対策促進事業			担当部局庁		健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定) 年度		平成 5 年度			担当課室		疾病対策課		疾病対策課 山本 尚子		
会計区分		一般会計			施策名		Ⅳ－３－４難病対策、ハンセン病対策、エイズ対策を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)					関係する計画、通知等		「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」平成18年厚生労働省告示第89号				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		都道府県等でのエイズ対策を総合的に促進するためのエイズ対策推進協議会等の設置及び各事業に要する経費に対して補助を行い、エイズ予防対策の促進を図る。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)		・(補助率:1／2) 感染症法に基づくエイズ予防指針に基づき、各都道府県等において地域の実情に応じたきめ細かなエイズ予防対策を総合的に促進するためのエイズ対策推進協議会等の設置及び各種事業に要する経費に対して補助を行い、エイズ対策の促進を図る。 ・(補助率:10／10) 地方ブロック治療拠点病院においてブロック内のエイズ治療拠点病院の医療従事者に対し、研修・講習を行うとともに調査研究等を実施し、エイズの総合的診療を行う体制を整備する。									
実施方法		☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☒ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他									
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求			
		予算 の 状 況	当初予算	550	460	440	375	340			
			補正予算								
			繰越し等								
			計	550	460	440	375	340			
		執行額		435	399	379					
		執行率 (%)		79.1%	86.7%	86.1%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
		事業の内容が、都道府県等による協議会の開催やエイズに関する知識の普及啓発等、数量で評価することができないため、定量的な成果目標を示すことはできない。			成果実績	－	－	－	－	－	
					達成度	%	－	－	－		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
		事業の内容が、都道府県等による協議会の開催やエイズに関する知識の普及啓発等、数量で評価することができないため、定量的な成果目標を示すことはできない。			活動実績 (当初見込み)	－	－	－	－	－	
						－	－	()	()		
単位当たりコスト		－			算出根拠						
平成 2 3 ・ 2 4 年度 予算 内 訳	費 目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由						
	事務費		375	340	実績を踏まえた減等						
	計		375	340							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	—	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		HIV医療従事者の技能向上や各地域のエイズ医療の水準の向上に寄与しており、引き続き事業を実施する必要がある。	
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		エイズ対策促進事業については、エイズ医療の向上に資する施策であり、事業内容等を精査し、必要な予算措置とすべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
-			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

厚生労働省
380百万円



【補助】

A 都道府県、政令市、特別区(136団体)
380百万円

〔 研修や人材育成、HIV感染予防の啓発
などを実施、検査体制の充実や医療体
制の整備を図る 〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.北海道			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	カウンセラー設置事業、エイズ治療中核拠点病院推進事業、調査研究事業	38			
旅費	運営協議会、連絡会議、研修会への出席	7			
需用費	感染予防薬代、消耗品	5			
使用料及び賃借料	運営協議会、連絡会議等会場借上	1			
役務費	通信運搬費	1			
報償費	運営協議会補助員	1			
計		53	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北海道	エイズ対策促進事業、地方ブロックエイズ対策促進事業	53		
2	石川県	エイズ対策促進事業、地方ブロックエイズ対策促進事業	51		
3	新潟県	エイズ対策促進事業、地方ブロックエイズ対策促進事業	51		
4	広島県	エイズ対策促進事業、地方ブロックエイズ対策促進事業	51		
5	東京都	エイズ対策促進事業	33		
6	横浜市	エイズ対策促進事業	12		
7	千葉県	エイズ対策促進事業	7		
8	神奈川県	エイズ対策促進事業	6		
9	鳥取県	エイズ対策促進事業	4		
10	大阪市	エイズ対策促進事業	4		